

放課後等デイサービスガイドライン自己評価表

アンケート実施期間:2024年12月
結果公表日:2025年3月27日

回答率

事業所職員: 5名回答、回答率 100%
保護者様: 16名回答、回答率 73%

職員の意見

○環境・体制整備

- ・集団療育や個別課題の取り組みにあわせて机や椅子などの配置を変えて取り組みやすいようにしている。
- ・サーキュレーターを使用して換気したり、使用した遊具、道具などの消毒をこまめに行ったりして感染症対策に努めている。

○業務改善

- ・集団療育の準備や掃除など職員間で分担し、効率よく行っている。
- ・日々の業務前ミーティングにおいて生徒の状況を全員で共有することはもちろん、生徒の様子で気になったことがあった時には都度共有ができています。

○適切な支援の提供

- ・個別課題において、毎日同じ領域に取り組むのではなく、個々の課題設定に合わせて満遍なく様々な課題を提供している。
- ・月の療育テーマに合わせて職員間で話し合いながら療育内容を企画し、実行している。

○関係機関や保護者との連携

- ・学校送迎の際に生徒たちの様子について常に共有し、教室での支援に活かしている。
- ・地域の連絡会への参加が出来ていないのでタイミングを合わせて参加していきたい。

○保護者への説明責任等

- ・療育参観や保護者会を2月に実施する。来年度は年に2回の実施を目標に計画を立てる。
- ・送迎時のフィードバックの時間やサービス提供記録を通じて教室での様子を詳細に共有することが出来た。

○非常時等の対応

- ・毎月1回避難訓練に取り組み、その様子を保護者とも共有している。
- ・虐待防止研修を実施し、日々の支援に役立てている。

保護者様のご意見

○環境・体制整備

- ・職員の配置については、8割以上の方に満足しているとう回答をいただいた。
- ・活動スペースについて、「身体を動かしたい生徒には少し狭い気がする」とのご意見をいただいた。運動を行う際に、他生徒とぶつからないよう十分な間隔をあげたり、机の配置を工夫したりするなどして、身体を動かすスペースを確保できるように工夫していく。

○適切な支援の提供

- ・「生徒のことを十分に理解し、生徒と保護者のニーズや課題が客観的に分析されたうえで、個別支援計画が作成されているか」という設問について、10割の方に「はい」という回答をいただいた。
- ・「戸外での活動がもう少しあるとよい」というご意見もあったので、安全に配慮しながら課外での活動を企画・実施していきたい。

○保護者への説明等

- ・「日頃から生徒の状況を保護者と伝え合い、生徒の健康や発達の状況について共通理解が出来ていると思うか」という問いについて、10割の方から「はい」というご回答をいただいた。
- ・家族への支援がなされているか、分からない、どちらともいえないの意見もあったため、今後療育参観や面談等を通じて周知していく。

○非常時等の対応

- ・「非常災害の発生に備え、定期的に避難訓練が行われているか」という設問について、10割の方から「はい」という回答をいただいた。
- ・ケガや事故にあっていないので詳細は分からないとの意見を頂いた。今後は教室での過ごし方、どのような所に気を付けて支援に当たっているか等承周知していく。

○満足度

- ・「こどもは通所を楽しみにしているか」「事業所の支援に満足していますか」という設問に対し、どちらも9割以上の方に「はい」という回答をいただいた。

昨年度の振り返り

○今年度の取り組む具体策

- ・送迎時だけでなく、事業所内での生徒の様子を見て頂くことを目的として実際に教室に来ていただけるような場を設定し、保護者様のニーズを聞き取りながら密な連携を図っていく。
- ・ミーティングの時間について改善・強化をし、保護者様からの情報や生徒の支援の方向性を共有し、より充実した支援を還元できるようにしていく。

○改善できた点・まだ残る課題

- ・業務前のミーティングを毎日実施できた。また気になったことがあれば都度共有するなどして、職員間で偏りなく生徒の状況を把握することができた。
- ・課外活動や調理活動等を行う準備に時間を割いてしまったことで、療育参観や保護者会の開催が十分に出来なかった。今後は計画的に開催できるように、事前にスケジュールを立てて確実に実行していく。

アンケート結果からみる教室の強み・改善点

○教室の強み

- ・生徒たちの帰宅後に使った教室備品の消毒を徹底、また感染症対策を意識して適宜換気を行う事を意識するといった、清潔で過ごしやすい教室づくりができた。
- ・保護者様や生徒のニーズに合わせた個別支援計画の策定及び個別課題や集団療育の提供ができた。
- ・保護者に対し、サービス提供記録や送迎の際の申し送りの際に活動内容についてお伝えし、密な情報共有を行なうことにより、教室の支援に生かすことができた。

○改善点

- ・地域交流や社会参加を促す事を目的とした課外での活動を増やしていく。
- ・保護者会や療育参観の実施が出来なかった。今後保護者会を通じて教室での生徒たちがどのように過ごしているのか、どのような支援が行われているのかについて周知して頂く機会をつくる。

中長期的な改善計画・1年間で取り組む具体策

○中長期的な改善計画

- ・保護者会・療育参観の充実を図り、保護者様により開かれた教室の運営を目指す。
- ・課外活動等を通じた地域交流の機会を増やす。

○1年間で取り組む具体策

- ・来年度4月に保護者会や療育参観の開催日を決め、計画的に準備を進め、前期と後期で保護者の方に教室を見てもらう機会を設けていく。
- ・長期休暇や祝日で課外活動を企画し、地域と交流する機会を設け、開かれた教室づくりを行なっていく。